

いちよう祭中止決定過程に関する抗議声明

令和2年3月19日、大阪大学春の大学祭である「いちよう祭」の中止判断及び大学内への通知が大阪大学総長名義により大阪大学大学祭中央実行委員会（以下、当委員会）へ事前の通知、協議がなく行われたことに対して、当委員会は大阪大学に対して強く抗議致します。

当委員会は「学生主体」を旨とし、これまであらゆる学生団体の文化的発表の場を守るため、また多くの阪大生に楽しい大学生活を過ごしていただくために、財源等に関しては一部大学に依存している部分ではありますが、すべての団体に対し公平かつ中立な立場で運営を続けてまいりました。

また大阪大学の各部局とも連携し、協力・信頼関係のもと大学祭の運営に努めてまいりました。

しかしながら、この度いちよう祭の開催中止をめぐる大学内での検討に当委員会はおろか学生への意見聴取がなかったことについて、非常に残念でなりません。

「大学祭」はただ学生が羽目を外して楽しむというだけのイベントではなく、各課外活動団体が積み上げてきた成果をお披露目する場でもあります。また、学生生活を彩る課外活動の集大成となる場で、いちよう祭で引退するというサークルにとってはその学生の人生の1ページとなり得ます。

この度の決定は感染症対策上致し方なく、中止決定が間違いであると断言できない内容ではありますが、学生への意思確認がなかったことについて、「学生主体」「学生自治」を守るという点において深く憂慮すべき事態であると考えます。

大阪大学大学祭中央実行委員会は改めてここに本決定過程に対し抗議の意を表するとともに、大変遺憾である旨表明致します。

令和2年3月19日

大阪大学大学祭中央実行委員会
委員長 大谷真寛